

西鉄組合新聞

【発行所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合
【編集発行者】徳永 靖幸
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)
西鉄労組ホームページ (http://nnr-u.org)▶



晴天の下、春闘勝利へ向け たたかい抜く 決意を確認



「24春闘勝利決起集会」 開催！

2月18日(日)

2月18日(日)、24春闘勝利に向けて組合員の団結を図り、たたかい抜く意志を確認するべく、「24春闘勝利決起集会」ならびに「第55回春闘勝利駅伝大会」を開催した。

新型コロナウイルスは昨年5月に2類相当から5類へ移行したことにより、1分會複数チームのエントリーが可能となった今大会は計37チームが参加し、各分会・出向班の組合員とその家族など、500人以上が早朝から晴天に恵まれた「舞鶴公園(鴻臚館広場)」に結集した。
午前10時30分より「24春闘勝利決起集会」を開催し、冒頭、古賀執行委員長が挨拶した。

古賀執行委員長挨拶



古賀執行委員長

要員不足の中、本日は多くの組合員にお集まりいただいたこと、また現在、職務を全うしている組合員の協力があって、本日、「24春闘勝利決起集会・駅伝大会」を開催することができていることに対し、あらためて感謝申し上げます。
いよいよ24春闘もスタートし、組合は2月14日、会社に要求書を提出した。

今春闘においては、「ペア分十定昇相当分」19、800円を要求し、過去20数年ぶりに最高額の要求となった。昨年の春闘は、約30年ぶりとなる高水準の結果を勝ちとることができたが、物価は高止まり、さらに上昇を続ける中で、実質賃金は低下し、組合員の生活は厳しさを増している状況にある。
24春闘では、昨年の水準を維持、またはそれをさらに上回る結果を引き出すことが我々に託された使命である。
この駅伝大会は、各チームが競い合う場であるが、その個々のチーム力が一つになって西鉄労組の大きなチーム力となるものでもある。24春闘を勝ち抜くために、最後まで職場からの闘争態勢の構築をお願いしたい。

要旨

古賀執行委員長による号砲を合図にスタート(2面に記事)。ペースメーカーを務めた陸上競技部の選手に先導され、37チームの選手たちは次の走者へより早く「たすき」を渡そうと全力で競い合った。
競技終了後は表彰式をおこない、最後は本間副執行委員長の発声のもと「団結がんばろう」三唱で、西鉄労組の組合員が一丸となったたたかい抜く決意を確認し閉会した。

員長の挨拶(要旨参照)に続き、公務多忙のなか駆けつけていただいた西鉄労組連組織内議員「佐々木とおる」「泉議員(南区)」「近藤さとみ」市議会議員(南区)、「仁戸田元氣」県議会議員(西区)より激励の挨拶、私鉄総連組織内議員「もりやたかし」参議院議員、準組織内議員「辻元清美」参議院議員から祝電によるメッセージをいただいた。その後、有隣監督率いる「西鉄陸上競技部」で活躍する選手の方々を紹介した。
春闘勝利駅伝大会は、11時20分、古賀執行委員長による号砲を合図にスタート(2面に記事)。ペースメーカーを務めた陸上競技部の選手に先導され、37チームの選手たちは次の走者へより早く「たすき」を渡そうと全力で競い合った。

ご来賓

福岡県議(東区) 佐々木とおる
福岡県議(西区) 仁戸田元氣
福岡市議(南区) 近藤さとみ

【私鉄総連組織内議員 参議院議員】
森屋 隆
【私鉄総連連組織内議員 参議院議員】
辻元清美

祝電

【私鉄総連連組織内議員 参議院議員】
森屋 隆
【私鉄総連連組織内議員 参議院議員】
辻元清美



最後の「団結がんばるー!」



仁戸田元氣 福岡県議



近藤さとみ 福岡市議



佐々木とおる 福岡県議



西鉄陸上競技部の皆さん

たすきを繋ぎ、一人一人の力を大ききな力に！ 24春闘勝利に向けて、37チームが疾走

暖かな日差しの下、熱気あふれるレースを展開。

当日は、気温も20℃を超える陽気に包まれ、まさに駅伝日和のなかを各チームの選手たちは明るく元気いっぱい、舞鶴公園に設定されたコースを走り抜きました。

レースは、1区から自動車事務Aチームがトップをキープする展開に。追いつがる本社事務と昨年優勝の筑紫乗務を振り切り、見事優勝の栄冠を勝ち取りました。

精いっぱい走りきった選手の皆さん、熱い声援を送り続けた各分会応援団の皆さん、本当にお疲れさまでした。

最終順位					
1位	自動車事務A				
2位	本社事務				
3位	筑紫乗務				
4位	アイランドシティA				
5位	柳川乗務				
6位	西鉄バス二日市				
7位	片江				
8位	早良				
9位	柏原A				
10位	彦岐A				



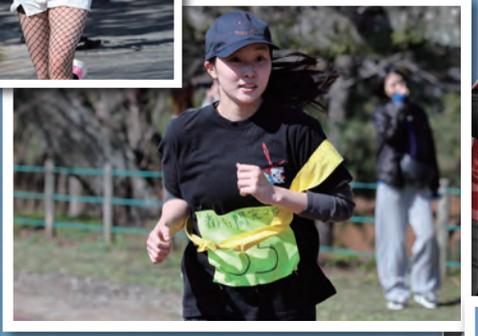
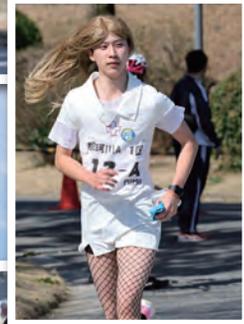
24 春闘駅伝大会順位表

順位	チーム	タイム
1	自動車事務A	28.43
2	本社事務	28.46
3	筑紫乗務	29.11
4	アイランドシティA	31.12
5	柳川乗務	32.00
6	西鉄バス二日市	32.38
7	片江	32.42
8	早良	32.44
9	柏原A	32.52
10	壱岐A	32.54
11	ステーションサービス	33.06
12	自動車事務B	33.37
13	本社事業	34.26
14	電車技術	34.45
15	西鉄バス宗像	34.56
16	桧原A	34.58
17	貝塚	35.08
18	エンジニアリング	35.34
19	那珂川A	36.02
20	金武	36.08
21	都市開発	36.20
22	福岡高速	36.34
23	那珂川B	36.36
24	筑紫工場	37.29
25	愛宕浜	38.20
26	アイランドシティB	38.21
27	国物東日本	38.25
28	国物西日本	38.36
29	博多	39.18
30	土井	39.46
31	百道浜	39.48
32	桧原B	40.45
33	壱岐B	40.58
34	竹下	41.14
35	吉塚	41.17
36	宇美	43.12
37	柏原B	48.15

表彰

賞	チーム
アイデア賞	那珂川A
敢闘賞	柏原B
敢闘賞	宇美
トビ賞10位	壱岐
トビ賞15位	西鉄バス宗像
トビ賞20位	金武
トビ賞25位	愛宕浜
トビ賞30位	土井

区間順位グラフ



優勝 自動車事務A



今年優勝を狙い、半年くらい前からチームづくりを進めてきました。ここ一カ月くらいは、グループチャットで練習などの情報共有を図ったり作戦会議を開いたりしてモチベーションを高めてきました。その作戦会議では、どのようにレースを組み立てるか意見がかなり割れて侃侃諤諤議論があったのですが、最終的にはキャプテンのリーダーシップのもとメンバーが一つにまとまり、勝利に向けて団結力が強まりました。

実際のレースは、1区からとばして他チームを引き離し、そのままのペースで後半につないでいこうとしたのですが、思いのほか最後は差を詰められちよつと焦りました。でも、見せ場ができて結果的にはよかつたのではないかと思います。

来年は、もちろん連覇を目指します。そのための準備も、もうバッチリです。あとは人事異動次第ですね。(笑)

3位 筑紫乗務



準優勝 本社事務



春闘駅伝、敢闘賞に輝く

宇美分会

2月18日(日)に「24春闘駅伝大会」がおこなわれ、宇美分会では乗務員5名、乗務員の子ども1名が一致団結して優勝を目指して激走しました。惜しくも優勝には届きませんでしたが、みなさん一生懸命走り抜き敢闘賞をいただきました。また、多くの組合員さん、管理者の方も応援にかけてくださり、今年の駅伝大会も楽しく大いに盛り上がりました。24春闘勝利に向けて、今後とも分会一丸となって頑張っていきたいと思っております。

【教宣部長 秋山裕太】

一致団結して24春闘に臨む

片江分会



いよいよ24春闘が始まりました。コロナ禍が明け、世間にも賑わいが戻り、公共交通利用者も少しずつではありますが戻りつつあります。物価上昇・増税等、生活に直結する問題も多くでてきています。生活向上を求め、うで賃金上昇は必須であり、片江営業所全組合員も一致団結して今春闘に臨みます。春闘駅伝にて「春闘勝利」の思いをみんなで繋ぎ、勝利のゴールを目指しました

【教宣部長 門田勉】

分会トピックス

春闘駅伝、悲願の優勝！

自動車事務分会



2月18日に開催された春闘駅伝大会において、自動車事務分会は優勝することができました。多くの組合員が応援にも駆けつけ、春闘に向けて西鉄労組全体を盛り上げる、ことができたと感じています。今後自動車事務分会一同、一致団結し組合活動に積極的に参加してまいります。

【教宣部長 吉原智也】



組合本部 3月スケジュール

- ◆ 5日(火).....事務局会議
- ◆ 11日(水).....医療共済幹事会
- ◆ 15日(金)<予定>...執行委員会
- ◆ 15日(金)<予定>...中央委員会
- ◆ 27日(木).....医療共済幹事会



※急遽変更となる場合があります。



2月22日、組合本部において第5回中央委員会を開催し、中央委員、特別中央委員ほか、55名が出席。報告事項35件、承認事項4件、審議事項の「西鉄労組2024年春闘方針」などすべての議案を原案どおり、満場一致で決定した。この春闘方針に則り、西鉄労組は、たたかいをすすめていく。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第5号」参照(分会掲示板、イントラネット西鉄労組ページに掲載)

2024年春闘方針を全議案を満場一致で決定

第5回中央委員会
開催日：2月22日(木)
場所：組合本部

第43回九州地連活動家交流集会

開催日：2月8日(木)・9日(金) 場所：熊本県菊池市「菊池ランドホテル」

組織内議員の必要性などを学習し、団結・交流を深める

2月8日(木)・9日(金)、熊本県菊池市「菊池ランドホテル」にて「第43回九州地連活動家交流集会」が開催され、22単組約100名が集結。西鉄からは12名が参加した。

私鉄総連企画調査局 樋口局長による基調講演をはじめ、分會では他労組の参加者たちと活発な議論や意見を交わし、4年ぶりとなった夕食の「団結小屋」では、地方の郷土料理をいただくながら交流を深めた。



活動家交流集会に参加して

もりや議員の活動や重要性の職場で訴える



早良分会 眞名子 盛幸

今回の活動家交流集会では、

団結・交流を深める

「地域公共交通の維持・活性化に向けた取り組みとライドシェア問題について」「組織内議員の必要性とわれわれがやるべきこと」「私鉄春闘と交渉促進に向けて」があり、分會では、「もりやたかし組織内国会議員の再選に向けて、これから私たちは何をすべきか?」の講演が、2日間にわたっておこなわれました。

印象に残っているのは、分會の議論の中で出た、組合員が選挙に関心がなく、「もりやたかし」をなぜ私鉄が再選させなくてはならないのかという疑問や、人員不足のため選挙に行く暇がないとの内容でした。こういった問題に対し私たち分会役員が、「もりやたかし」参議院議員が何をおこなってきたのかを説明し、私たちの職場を守るためにも「もりやたかし」の必要性を強く訴えていくことを確認できたことでした。

選挙への関心 若年組合員対策などが課題



電車技術分会 松本 裕樹

交流集会では、私鉄総連より組織内議員の必要性や組合員アンケートの結果報告に関する講演を聴き、あらためて春闘の大切さと組織内議員である「もりやたかし」氏の重要性と必要性を認識しました。

各県連との分會では、組合

員が選挙を棄権しないためにはどうすればよいか、若年層の組合員に対する組合活動への参加などについて意見交換をおこなっていました。

夕食交流会では4年ぶりとなる「団結小屋」が設けられ、各県連の郷土料理を味わいながら意見交換と交流を深めることができました。今回得られた知識や情報を今後の組合活動へ繋げていきます。

各単組の取り組みや課題などを全体で共有



都市開発分会 春口 純輝

基調講演では、「組織内議員の必要性とわれわれがやるべきこと」の話があり、選挙の重要性や難しさ、また1票の大切さについて知ることができました。

もりやたかし組織内国会議員がいることで、我々私鉄の仲間たちの課題を国会に取り上げてもらえるというメリットや、その議席を失った場合のリスクについて考えさせられました。

分會では、各単組の取り組みや課題を全体で共有でき、自身が組合員の皆さんへどのように接していけばよいかを学ばせていただきました。とても有意義な2日間となりました。



届け！家族のアイイ想い!! 24春闘作品展

「2024年春闘作品にたくさんのご応募、ありがとうございます。作品は、西鉄労働会館1F、2Fに展示しています。本誌面でもその一部をご紹介します。」

〔応募作品数〕

- 習字：211作品
- 川柳：97作品
- 図画：38作品
- 作文：2作品
- 合計：348点

